

第217回 (25/Ⅱ期)

群馬県内企業経営動向調査

(ビジネス・サーベイ)

群馬経済研究所 主任研究員 高橋真澄
主任研究員 須藤一麻

◆調査概要

～業況判断DIは、6期連続でマイナスとなる～

- 2025年4～6月期の県内企業の業況判断DIは、6期連続でマイナスとなった。
- 内訳項目をみると、生産・販売（売上・受注）DIは6期連続でマイナスとなった。製商品（販売）価格DIと原材料（仕入）価格DIは「上昇」超が続いた。また、採算DIは「悪化」超、人員判断DIは「不足」超が続いた。
- 業種別の業況判断DIでは、製造業が△6.4と「悪化」超が続き、非製造業は△6.1と2期連続で「悪化」超となった（10頁）。製造業では輸送機器のマイナス幅が前期から縮小したが、非製造業では卸売業が前期に続き大幅なマイナスとなった。
- 経営上の問題点では、「求人難」、「原材料費の値上がり」、「人件費等経費の増加」と回答した企業が前期に続き半数を超えた（15頁）。
- 2025年7～9月期の業況判断DIは△7.2と、「悪化」超が続く見通しである。

項目別DI推移

(数字の前の「△」はマイナスを意味する)

年・月期	業況判断	生産・販売 (売上・受注)	製商品 (販売)価格	原材料 (仕入)価格	採 算	設備投資	資金繰り	在庫水準	人員判断
23・1～3	△10.4	△10.6	24.3	62.7	△24.2	△ 4.5	△ 4.7	△12.3	△35.7
4～6	△ 0.2	△ 1.3	24.4	56.1	△12.0	△ 3.7	0.2	△14.3	△34.9
7～9	△ 5.6	△ 1.8	17.9	51.1	△19.5	△ 0.5	△ 2.6	△14.7	△35.6
10～12	7.5	12.9	20.6	46.3	△ 4.7	△ 0.3	△ 1.8	△11.8	△42.3
24・1～3	△10.3	△12.1	15.7	36.8	△20.8	△ 5.7	△ 1.6	△ 8.8	△37.6
4～6	△ 5.1	△ 9.0	23.6	52.0	△15.9	△ 3.4	0.2	△ 9.5	△36.4
7～9	△ 1.7	△ 0.2	14.4	41.2	△13.9	△ 3.1	△ 3.6	△13.1	△35.4
10～12	△ 0.4	△ 1.4	18.5	45.6	△10.1	△ 5.6	△ 4.5	△10.5	△39.6
25・1～3	△ 5.0	△ 4.3	15.4	44.5	△13.4	△ 2.2	△ 1.4	△10.3	△37.6
25・4～6	△ 6.2	△ 1.0	19.9	43.3	△13.5	△ 8.6	△ 1.3	△11.5	△38.9
(前 期 比)	(△ 1.2)	(3.3)	(4.5)	(△ 1.2)	(△ 0.1)	(△ 6.4)	(0.1)	(△ 1.2)	(△ 1.3)
(前回予測比)	(△ 7.3)	(△ 3.7)	(1.3)	(6.5)	(△10.0)	(△ 6.4)	(△ 1.6)	(△ 3.8)	(△ 1.8)
25・7～9見通し	△ 7.2	△ 3.0	10.6	30.5	△12.5	△10.3	△ 4.5	△ 2.0	△37.5
(前 期 比)	(△ 1.0)	(△ 2.0)	(△ 9.3)	(△12.8)	(1.0)	(△ 1.7)	(△ 3.2)	(9.5)	(1.4)
D I	好転－悪化	増加－減少	上昇－低下	上昇－低下	好転－悪化	増加－減少	余裕－窮屈	不足－過剰	過剰－不足

◆調査要領

1. 調査の目的

群馬県内の景気動向と先行きを予測し、県内主要産業の実態を把握する。

2. 調査対象企業

群馬銀行の取引先を中心に900社

回答社数405社（回答率45.0%）うち製造業170社 非製造業235社

3. 調査方法

記名式で当研究所の指定した項目について、その実績と見通しを記入するよう依頼した。

4. 調査時期

2025年5月上旬～6月上旬

5. 調査対象期間

2025年4～6月期実績、2025年7～9月期見通し（前期比）

◆回答状況

調査回答数

	会社数	構成比 (%)	うち 中小企業	地域別		
				中央部	東 部	その他
製 造 業	170	42.0	164	66	79	25
食 料 品	22	5.4	22	11	8	3
織 維	10	2.5	10	2	7	1
木 材 木 製 品	7	1.7	7	3	2	2
窯 業 土 石	8	2.0	8	4	2	2
電 気 機 器	11	2.7	11	5	5	1
輸 送 機 器	24	5.9	20	4	19	1
金 属 製 品	35	8.6	35	14	16	5
一 般 機 械	13	3.2	13	8	5	0
そ の 他	40	9.9	38	15	15	10
非 製 造 業	235	58.0	215	139	58	38
卸 売 業	46	11.4	43	32	9	5
小 売 業	37	9.1	28	27	7	3
建 設 業	69	17.0	66	35	19	15
サ ー ビ ス 業	83	20.5	78	45	23	15
合 計	405	100.0	379	205	137	63

注1：地域別

中央部…前橋・高崎地域
東 部…桐生・伊勢崎・太田・館林地域
その他…上記以外の地域

注2：中小企業

製造業、建設業…資本金3億円以下または
従業員300人以下
卸売業……………資本金1億円以下または
従業員100人以下
小売業……………資本金5千万円以下または
従業員50人以下
サービス業……………資本金5千万円以下または
従業員100人以下

注3：その他の製造業に含まれる業種

パルプ・紙・紙加工品製造業
印刷・同関連業
化学工業
石油製品・石炭製品製造業
プラスチック製品製造業
ゴム製品製造業
その他、他に区分されない製造業

■本文中にあるDIについて

DIは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略であり、企業の業況の判断などを指数化したものである。

たとえば、企業に業況の良し悪し（業況判断）を聞き、その結果、全体の30%が「良い」、50%が「普通」、20%が「悪い」と答えたとする。この場合、業況判断のDIは「業況が良い企業の割合」から「業況が悪い企業の割合」を引いた数値を指す。つまり、業況判断のDIの求め方は以下のとおりである。

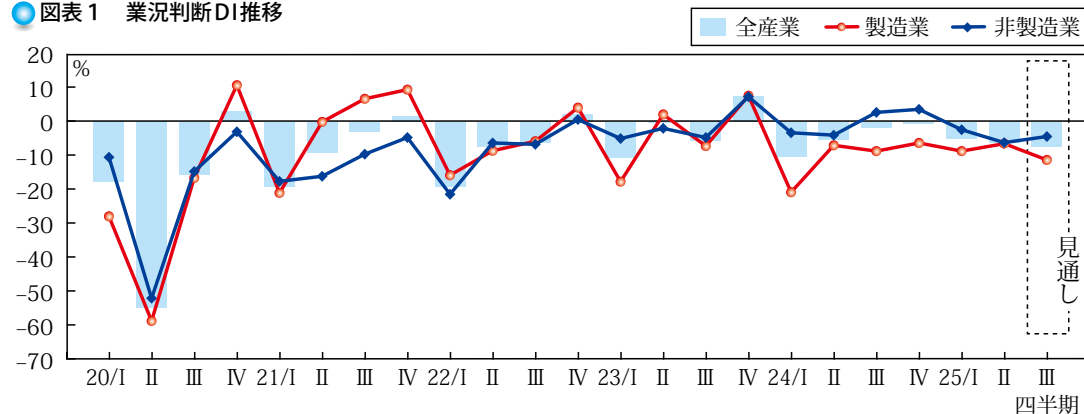
DI値：30(%)－20(%)＝10(%) ※「普通」と回答した「50%」は、DIの計算に含まれない。

業況が良いと回答した企業が多いと、DIはプラスになる。DIがマイナスなら、悪いと回答した企業が多いということである。

1. 自社業況判断

～6期連続でマイナスとなった～

●図表1 業況判断DI推移



	25/I 実績	25/II (4～6月)		25/III 見通し
		前回予測	実績	
好転	12.0	(12.8)	10.5	9.0
変わらず	71.0	(75.5)	72.8	74.8
悪化	17.0	(11.7)	16.7	16.2
全産業DI	△5.0	(1.1)	△6.2	△7.2

製造業DI	△8.6	(3.7)	△6.4	△11.2
食料品	△9.1	(4.6)	4.5	△4.6
繊維	14.3	(14.3)	0.0	0.0
木材木製品	10.0	(20.0)	△14.3	0.0
窯業土石	0.0	(0.0)	△25.0	△12.5
電気機器	8.3	(25.0)	9.1	△9.1
輸送機器	△35.0	(5.0)	△12.5	△45.8
金属製品	△10.3	(3.4)	△2.9	2.9
一般機械	5.5	(22.2)	7.7	0.0
その他	△15.7	(△18.5)	△17.5	△15.0
非製造業DI	△2.3	(△0.9)	△6.1	△4.3
卸売業	△21.4	(△19.0)	△21.8	△17.4
小売業	13.8	(6.9)	△2.9	△3.0
建設業	△1.6	(1.6)	△7.3	△2.9
サービス	1.2	(3.8)	2.5	1.2

【25年4～6月期】

○全産業

全産業DIは△6.2と6期連続でマイナスとなった。

○製造業

木材木製品、窯業土石、輸送機器、金属製品などが「悪化」超となった。

○非製造業

サービスを除く業種で「悪化」超となった。

【25年7～9月期】

○全産業

全産業DIは△7.2と、「悪化」超が続く見通し。

○製造業

輸送機器の「悪化」超が大幅に拡大し、全体では「悪化」超が続く見通し。

○非製造業

サービスを除く業種で「悪化」超が続き、全体でも「悪化」超が続く見通し。

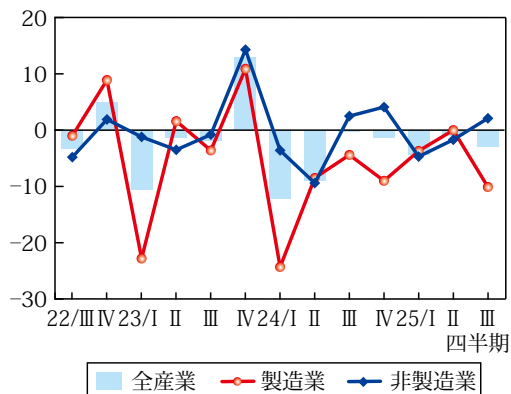
2. 項目別動向

(1)生産・販売(売上・受注)

～「減少」超が続く～

	25/Ⅰ 実績	25/Ⅱ(4-6月) 前回予測	25/Ⅱ(4-6月) 実績	25/Ⅲ 見通し
増加	17.9	(17.7)	17.7	14.0
横ばい	59.9	(67.3)	63.6	69.0
減少	22.2	(15.0)	18.7	17.0
全産業DI	△4.3	(2.7)	△1.0	△3.0
製造業DI	△3.7	(5.5)	0.0	△10.1
食料品	△8.7	(8.7)	18.2	4.5
繊維	0.0	(28.6)	0.0	0.0
木材木製品	0.0	(20.0)	△14.3	0.0
窯業土石	16.7	(16.6)	△25.0	0.0
電気機器	30.8	(15.4)	9.1	△9.1
輸送機器	△35.0	(0.0)	△8.4	△50.0
金属製品	△13.8	(13.8)	0.0	5.7
一般機械	16.7	(16.7)	8.3	△8.3
その他	△2.7	(△18.4)	△2.5	△15.0
非製造業DI	△4.7	(0.5)	△1.7	2.1
卸売業	△28.6	(△14.3)	△13.1	△15.2
小売業	6.6	(10.0)	5.6	11.1
建設業	△3.1	(0.0)	△3.0	6.0
サービス	2.5	(5.1)	2.4	4.8

● 図表2-1 生産・販売(売上・受注)DI推移(25/Ⅲは見通し)



【25年4～6月期】

○製造業

木材木製品、窯業土石、輸送機器などが「減少」超となったが、全体では「横ばい」となった。

○非製造業

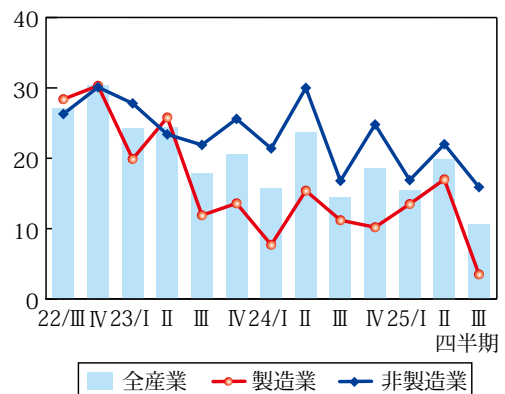
卸売業、建設業が「減少」超で、全体では「減少」超が続いた。

(2)製商品(販売)価格

～「上昇」超が続く～

	25/Ⅰ 実績	25/Ⅱ(4-6月) 前回予測	25/Ⅱ(4-6月) 実績	25/Ⅲ 見通し
上昇	18.1	(20.5)	23.9	14.9
横ばい	79.2	(77.6)	72.1	80.8
低下	2.7	(1.9)	4.0	4.3
全産業DI	15.4	(18.6)	19.9	10.6
製造業DI	13.5	(17.2)	17.0	3.5
食料品	21.8	(30.4)	27.3	4.5
繊維	28.6	(0.0)	△10.0	△20.0
木材木製品	10.0	(10.0)	0.0	14.3
窯業土石	33.3	(66.7)	62.5	25.0
電気機器	38.5	(23.1)	27.3	0.0
輸送機器	0.0	(5.0)	12.5	△12.5
金属製品	10.4	(10.3)	14.3	11.4
一般機械	11.1	(16.7)	△7.7	△7.7
その他	5.4	(16.2)	22.5	10.0
非製造業DI	16.9	(19.8)	22.0	15.9
卸売業	5.0	(7.5)	28.3	8.7
小売業	56.7	(43.3)	33.3	27.7
建設業	12.9	(16.1)	17.9	16.4
サービス	10.7	(20.0)	16.7	14.1

● 図表2-2 製商品(販売)価格DI推移(25/Ⅲは見通し)



【25年4～6月期】

○製造業

繊維、一般機械を除く業種で「上昇」超となり、全体では「上昇」超が続いた。

○非製造業

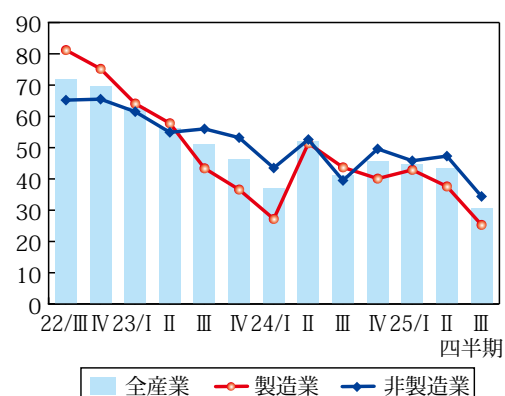
すべての業種で「上昇」超が続いた。全体では「上昇」超幅が拡大した。

(3)原材料（仕入）価格

～「上昇」超が続く～

	25/I 実績	25/II(4-6月) 前回予測	25/II(4-6月) 実績	25/III 見通し
上 昇	48.0	(38.4)	48.8	35.0
横ばい	48.5	(60.0)	45.7	60.5
低 下	3.5	(1.6)	5.5	4.5
全産業DI	44.5	(36.8)	43.3	30.5
製造業DI	42.9	(34.4)	37.6	25.3
食料品	72.7	(45.5)	41.0	27.3
繊維	85.7	(71.4)	50.0	20.0
木材木製品	30.0	(20.0)	14.3	14.3
窯業土石	33.3	(50.0)	62.5	25.0
電気機器	69.2	(53.8)	63.6	54.5
輸送機器	30.0	(25.0)	8.4	0.0
金属製品	27.6	(20.7)	28.5	25.7
一般機械	38.9	(27.8)	23.1	23.1
その他	34.2	(34.2)	55.0	35.0
非製造業DI	45.8	(38.6)	47.3	34.4
卸売業	23.8	(26.2)	43.5	17.4
小売業	66.7	(50.0)	47.2	44.4
建設業	50.0	(48.4)	49.3	39.1
サービス	46.0	(32.9)	48.1	35.5

● 図表 2-3 原材料（仕入）価格DI推移（25/IIIは見通し）



【25年4～6月期】

○製造業

すべての業種で「上昇」超が続いたが、全体では「上昇」超幅が縮小した。

○非製造業

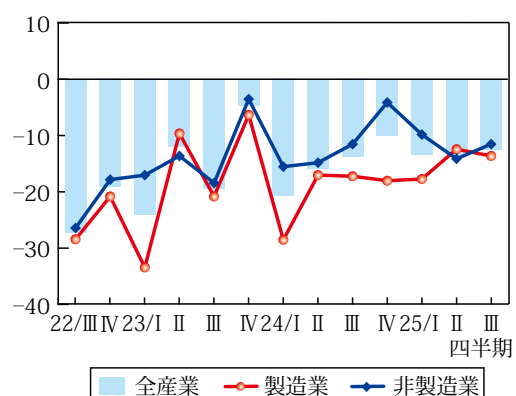
すべての業種で「上昇」超が続いた。

(4)採 算

～「悪化」超が続く～

	25/I 実績	25/II(4-6月) 前回予測	25/II(4-6月) 実績	25/III 見通し
好 転	8.3	(11.5)	8.3	6.0
変わらず	70.0	(73.5)	69.9	75.5
悪 化	21.7	(15.0)	21.8	18.5
全産業DI	△13.4	(△3.5)	△13.5	△12.5
製造業DI	△17.8	(1.2)	△12.5	△13.7
食料品	△27.3	(4.5)	△22.8	△22.7
繊維	△42.9	(△14.3)	△30.0	0.0
木材木製品	0.0	(20.0)	14.3	0.0
窯業土石	△33.3	(△33.3)	△37.5	△12.5
電気機器	△15.4	(15.4)	20.0	△20.0
輸送機器	△35.0	(0.0)	△8.4	△37.5
金属製品	△24.2	(6.9)	△17.7	△5.9
一般機械	11.1	(11.1)	7.7	0.0
その他	△10.5	(△10.5)	△15.0	△10.0
非製造業DI	△9.9	(△7.1)	△14.2	△11.6
卸売業	△29.3	(△24.4)	△28.3	△23.9
小売業	6.9	(3.5)	△13.9	△13.9
建設業	△11.1	(△9.5)	△13.0	△10.1
サービス	△5.2	(0.0)	△7.4	△4.9

● 図表 2-4 採算DI推移（25/IIIは見通し）



【25年4～6月期】

○製造業

木材木製品、電気機器、一般機械を除く業種で「悪化」超となった。

○非製造業

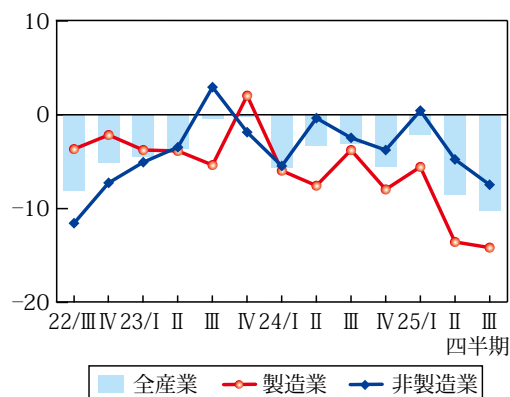
小売業が「悪化」超に転じて、全ての業種で「悪化」超となった。

(5)設備投資

～「減少」超が続く～

	25/Ⅰ 実績	25/Ⅱ(4-6月) 前回予測	25/Ⅱ(4-6月) 実績	25/Ⅲ 見通し
増 加	12.5	(8.7)	9.3	6.8
横ばい	72.8	(80.4)	72.8	76.1
減 少	14.7	(10.9)	17.9	17.1
全産業DI	△2.2	(△2.2)	△8.6	△10.3
製造業DI	△5.6	(△1.3)	△13.6	△14.2
食料品	△4.5	(△4.6)	△27.3	△18.2
繊維	△14.3	(0.0)	△40.0	△20.0
木材木製品	△10.0	(0.0)	0.0	14.3
窯業土石	16.7	(0.0)	△25.0	△12.5
電気機器	7.7	(15.4)	△18.2	0.0
輸送機器	5.0	(△5.0)	4.2	△20.8
金属製品	△10.7	(7.1)	△2.9	△11.7
一般機械	△17.6	(△5.8)	△30.8	△23.1
その他	△7.9	(△7.9)	△12.5	△15.0
非製造業DI	0.4	(△2.9)	△4.8	△7.5
卸売業	△2.4	(△9.8)	△13.3	△15.5
小売業	0.0	(3.4)	△2.9	2.8
建設業	△3.3	(△3.4)	△7.2	△14.5
サービス	5.4	(△1.3)	1.3	△1.3

図表2-5 設備投資DI推移(25/Ⅲは見通し)



【25年4～6月期】

○製造業

木材木製品、輸送機器を除く業種が「減少」超となり、全体では「減少」超幅が拡大した。

○非製造業

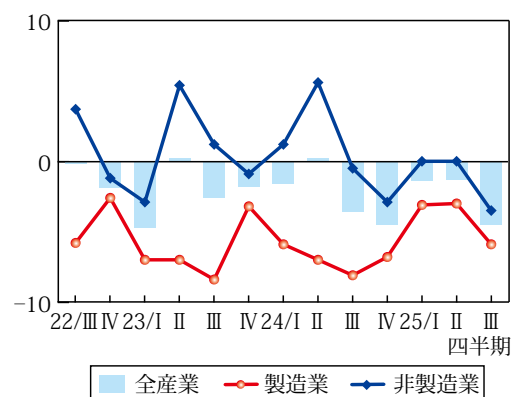
小売業が「減少」超となり、全体でも「減少」超に転じた。

(6)資金繰り

～若干の「窮屈」超が続く～

	25/Ⅰ 実績	25/Ⅱ(4-6月) 前回予測	25/Ⅱ(4-6月) 実績	25/Ⅲ 見通し
余 裕	10.6	(11.2)	11.5	9.5
普 通	77.4	(77.9)	75.7	76.5
窮 屈	12.0	(10.9)	12.8	14.0
全産業DI	△1.4	(0.3)	△1.3	△4.5
製造業DI	△3.1	(1.9)	△3.0	△5.9
食料品	△13.7	(△9.1)	△4.7	△9.5
繊維	△14.3	(△28.6)	△30.0	△40.0
木材木製品	△10.0	(0.0)	14.3	0.0
窯業土石	0.0	(0.0)	0.0	0.0
電気機器	30.8	(30.8)	27.3	27.3
輸送機器	△5.0	(0.0)	8.4	△4.1
金属製品	△16.6	(△13.3)	△28.6	△20.0
一般機械	10.5	(26.3)	15.4	23.1
その他	0.0	(5.2)	2.5	△5.0
非製造業DI	0.0	(△0.9)	0.0	△3.5
卸売業	0.0	(0.0)	△10.9	△10.9
小売業	0.0	(3.2)	2.7	△2.7
建設業	5.0	(0.0)	13.9	6.1
サービス	△3.8	(△3.8)	△6.1	△7.3

図表2-6 資金繰りDI推移(25/Ⅲは見通し)



【25年4～6月期】

○製造業

木材木製品、輸送機器が「余裕」超に転じたが、全体では「窮屈」超が続いた。

○非製造業

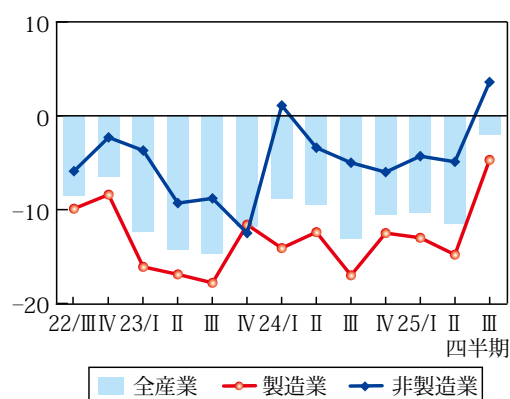
卸売業が「窮屈」超に転じたが、全体では「普通」が続いた。

(7)在庫水準

～「過剰」超が続く～

	25/Ⅰ 実績	25/Ⅱ(4～6月) 前回予測	25/Ⅱ(4～6月) 実績	25/Ⅲ 見通し
不足	5.2	(3.9)	6.8	6.8
適正	79.3	(84.5)	74.9	84.4
過剰	15.5	(11.6)	18.3	8.8
全産業DI	△10.3	(△7.7)	△11.5	△2.0
製造業DI	△13.0	(△9.3)	△14.8	△4.7
食料品	△13.7	(△9.1)	4.6	13.7
繊維	△14.3	(△14.3)	△22.2	0.0
木材木製品	△11.1	(△11.1)	△28.6	△28.6
窯業土石	0.0	(△16.7)	△37.5	△25.0
電気機器	△30.8	(△15.4)	△45.5	△36.4
輸送機器	△25.0	(△20.0)	△12.5	△8.3
金属製品	△6.6	(△10.0)	△20.0	△8.5
一般機械	△21.0	(△5.3)	0.0	15.4
その他	△2.8	(0.0)	△10.2	0.0
非製造業DI	△4.3	(△4.3)	△4.9	3.6
卸売業	△4.9	(△4.9)	△4.3	△2.2
小売業	△3.3	(△3.3)	△5.4	10.8
建設業	0.0	(0.0)	0.0	0.0
サービス	0.0	(0.0)	0.0	0.0

図表 2-7 在庫水準DI推移(25/Ⅲは見通し)



注)非製造業のうち、建設業、サービスは対象外

【25年4～6月期】

○製造業

食料品、一般機械を除く業種で「過剰」超となった。全体では「過剰」超が続いた。

○非製造業

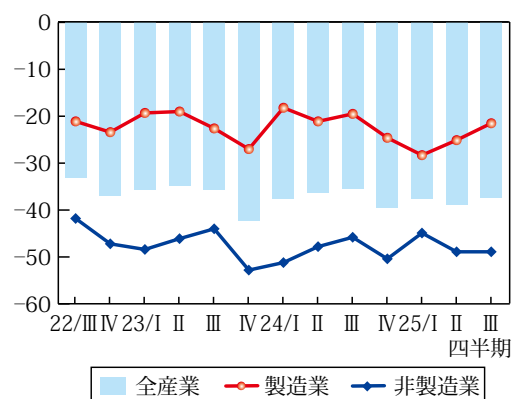
卸売業と小売業で「過剰」超が続き、全体でも「過剰」超が続いた。

(8)人 員

～「不足」超が続く～

	25/Ⅰ 実績	25/Ⅱ(4～6月) 前回予測	25/Ⅱ(4～6月) 実績	25/Ⅲ 見通し
過剰	7.1	(5.5)	4.8	5.5
適正	48.2	(51.9)	51.5	51.5
不足	44.7	(42.6)	43.7	43.0
全産業DI	△37.6	(△37.1)	△38.9	△37.5
製造業DI	△28.3	(△28.9)	△25.1	△21.5
食料品	△34.8	(△34.8)	△52.3	△38.1
繊維	△28.6	(△28.6)	△30.0	△40.0
木材木製品	△40.0	(△40.0)	△28.6	△28.6
窯業土石	△33.3	(△33.3)	△37.5	△37.5
電気機器	△23.1	(△23.1)	△27.3	△18.2
輸送機器	10.0	(10.0)	△4.2	16.6
金属製品	△30.0	(△30.0)	△11.5	△14.3
一般機械	△26.3	(△31.5)	△41.7	△50.0
その他	△42.1	(△42.1)	△25.7	△25.6
非製造業DI	△44.9	(△43.5)	△48.9	△48.9
卸売業	△28.6	(△33.4)	△21.8	△23.9
小売業	△38.7	(△38.7)	△59.5	△54.1
建設業	△57.4	(△50.9)	△65.2	△69.7
サービス	△46.3	(△45.0)	△46.3	△43.9

図表 2-8 人員DI推移(25/Ⅲは見通し)



【25年4～6月期】

○製造業

輸送機器が「不足」超に転じ、すべての業種で「不足」超となった。

○非製造業

小売業、建設業をはじめとして、すべての業種で「不足」超が続いた。

3. 経営上の問題点

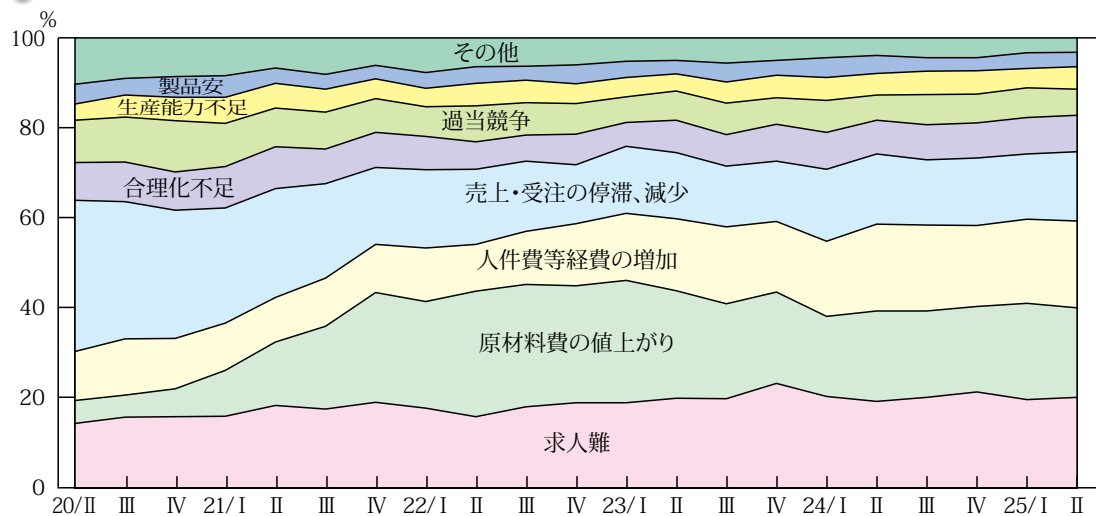
～「求人難」、「原材料費の値上がり」、「人件費等経費の増加」が半数を超える～

図表3-1 経営上の問題点

(単位：％)

項目	25年 1～3月期	25年 4～6月期	前期比増減	回答割合の高い業種
求人難	55.7	57.1	1.4	窯業土石、建設業、一般機械
原材料費の値上がり	61.1	56.6	△4.5	窯業土石、電気機器、食料品
人件費等経費の増加	53.3	54.8	1.5	木材木製品、金属製品、輸送機器
売上・受注の停滞、減少	41.3	43.7	2.4	木材木製品、窯業土石、繊維
合理化不足	23.2	22.9	△0.3	窯業土石、輸送機器、食料品
過当競争	18.9	16.5	△2.4	卸売業、食料品、電気機器
生産能力不足	12.3	14.1	1.8	一般機械、建設業、繊維、金属製品

● 図表3-2 経営上の問題点(項目ごとの推移)



注：図表3-2の分母は、本項目（問題点）についての回答数（複数回答）合計。

「求人難」、「原材料費の値上がり」、「人件費等経費の増加」を経営上の問題点として挙げた企業が前期に続き半数を超えた。